

学術（学会）賞

職名	氏名	学術（学会）賞名	受賞課題
文部科学技官	高柳 恵 草場 耕二 永沢 善三 一世 靖子 相本 秀臣 横田 真弓 小林とも子	日本臨床衛生検査学会学術研究奨励賞・会長賞	Vancomycin-resistant enterococci (VRE) の疫学的解析について

救急医学講座 (救急部を含む)

著書

- 1 平原健司：口をうごかしづらい。瀧 健治，加藤博之，河野寛幸，増田裕幸 編：救急外来診療で役立つ症候からの鑑別診断の進めかた。173-175，羊土社。東京 2003。
- 2 加藤博之：息切れ・呼吸困難・喘鳴。救急外来診療で役立つ症候からの鑑別診断の進めかた。瀧 健治，加藤博之，河野寛幸，増田裕幸 編：羊土社。東京。34-36。2003。
- 3 加藤博之：だるい・疲れやすい。救急外来診療で役立つ症候からの鑑別診断の進めかた。瀧 健治，加藤博之，河野寛幸，増田裕幸 編：羊土社。東京。135-137。2003。
- 4 加藤博之：むくみ。救急外来診療で役立つ症候からの鑑別診断の進めかた。瀧 健治，加藤博之，河野寛幸，増田裕幸 編：羊土社。東京。144-146。2003。
- 5 瀧 健治：I. 概論。II. 症候から診断への流れ。16. 吐血・喀血。26. 首がまわらない・腫脹，27. 肩・首のこり・痛み。35. 歯ぐきの腫れ・出血。III. 症候の発生機序：症候からの鑑別診断の進めかた。瀧 健治，加藤博之，河野寛幸，増田裕幸 編：12-19，107-110，147-150，151-153，181-183，242-252。羊土社。東京 2003。
- 6 瀧 健治：緊急内視鏡検査，深部体温計測法。伊藤正男，井村裕夫，高久史磨 編：医学書院医学大辞典。607，1289-1290，医学書院。東京 2003。
- 7 瀧 健治：輸液・輸血療法。日本救急医学会認定医認定委員会 編：救急診療指針。87-95，へるす出版。東京 2003。
- 8 瀧 健治：M. 全身麻酔。日本救急医学会認定医認定委員会 編：救急診療指針。469-472，へるす出版。東京 2003。
- 9 瀧 健治：呼吸管理で使用される薬物，抗生物質，抗潰瘍薬。丸川征四郎，槇田浩史 編：呼吸管理—専門医にきく最新の臨床—。140-147，中外医学社。東京 2003。
- 10 瀧 健治：しゃっくり。朝日新聞科学医療部 編：名医が答える医療相談。214-217，朝日新聞社。東京 2003。
- 11 瀧 健治：動脈血採血法。和田 攻，大久保昭行，矢崎義雄，大内やす義 編：新・図解日常診療手技ガイド。297-302，文光堂。東京 2003。
- 12 瀧 健治：救急疾患，D. 救急外傷，1. 多発外傷。下条文武，齋藤 康 編：ダイナミックメディ

シン. 第6版. 2258-2263. 西村書店. 新潟 2003.

- 13 Taki K, Nakashima S, Taki M, Takamatsu J: Changes in CO-Hb by hyperbaric oxygen therapy. Cramer FS, Sheffield PJ 編: Hyperbaric Medicine. 255-259, Best Publishing Company. 2003.

学術論文

- 1 °Abe M, Udono H, Tabuchi K, Uchino A, Yoshikai T, Taki K: Analysis of ischemic brain damage in cases of acute subdural hematomas. Surg Neurol 59: 464-472, 2003.
- 2 Gai X, Taki K, Kato H, Nagaishi H: Regulation of hemoglobin affinity for oxygen by carbonic anhydrase. J Lab Clin Med 142: 414-420, 2003.
- 3 平原健司:【救急患者のみかた 症候学からみた救急臨床研修の到達目標】めまい. 救急医学 27: 299-301, 2003.
- 4 伊藤栄近, 三宅徹郎, 瀧 健治: nifedipine 大量服用症例の治療経験. 中毒研究 16: 179-183, 2003.
- 5 加藤博之: 救急患者のみかた一症候学からみた救急臨床研修の到達目標. 動悸. 救急医学 27(4): 357-359, 2003.
- 6 加藤博之: 酸素投与 酸素投与の道具の選び方, 酸素流量の決定に自信がない. レジデントノート 5(4): 66-68, 2003.
- 7 加藤博之, 瀧 健治: 抗生物質と化学療法剤. 呼吸器ケア1 (冬季増刊): 216-221, 2003.
- 8 *Nagashima K, Kadoumi A, Ishida Y, Itoh T, Taki K: Determination of methamphetamine and amphetamine in abusers' plasma and hair samples with HPLC-FL. Biomed Chromatogr 17: 471-476, 2003.
- 9 *中島正一, 高松 純, 為広一仁, 島 弘志, 井手道雄, 瀧 健治: 一酸化炭素 (CO) 中毒に対する高気圧酸素療法 (HBOT) の効果について. 日臨救医誌 6(4): 386-391, 2003.
- 10 瀧 健治: 高体温・低体温. 診断と治療 91: 329-338, 2003.
- 11 瀧 健治, 平原健司, 岩村高志: 壊死性筋膜炎を疑う. medicina 40(4): 731-736, 2003.
- 12 瀧 健治, 加藤博之, 平原健司, 大串和久, 戸塚和敏, 岩村高志: 肝臓の低灌流状態における AT-III の肝臓障害予防効果. 蘇生 22(1): 13-18, 2003.
- 13 富永隆子, 瀧 健治: 過換気症候群. 救急医学 27: 1437-1439, 2003.

学会発表

- 1 蓋 雪峰, 岩村高志, 伊藤栄近, 戸塚和敏, 大串和久, 平原健司, 加藤博之, 瀧 健治: CPAOA の解析からみたメディカルコントロールの重要性. 第6回日本臨床救急医学会総会 2003, 4, 23. 日臨救医誌 62: 171.
- 2 *藤田尚宏, 八坂剛一, 平原健司, 杉原充: 血中 Endotoxin ならびに Cannabinoid の推移からみた PMX-DHP の有効性. 第30回日本集中治療医学会総会. 2003, 2, 5. 日集中医誌 10: suppl 133.
- 3 加藤博之, 岩村高志, 伊藤栄近, 戸塚和敏, 大串和久, 平原健司, 瀧 健治: 救急外来における医療業務支援用コンピュータシステムの開発. 第6回日本臨床救急医学会総会 2003, 4, 23. 日臨救医誌 62: 201.
- 4 加藤博之, 岩村高志, 伊藤栄近, 戸塚和敏, 大串和久, 平原健司, 瀧 健治: 内科研修医は救急部

での研修に何を期待しているか？－卒後年次別，分野別項目による学習意欲の検討－．第35回日本医学教育学会大会．2003，7，25．医学教育 34：46

- 5 加藤博之，瀧 健治：救急外来における脳卒中診断のピットフォール－研修医への教育のポイント－．第26回日本プライマリ・ケア学会総会．2003，6，22．プライマリ・ケア 26：223.
- 6 加藤博之，常富あゆみ，富永隆子，永嶋 太，岩村高志，伊藤栄近，戸塚和敏，大串和久，平原健司，瀧 健治：卒後臨床研修必修化時代における救急外来研修の意義－非典型的症状で受診する重篤な急性疾患を見逃さない教育－．第31回日本救急医学会総会 2003，11，21．日本救急医学会雑誌 14：509（シンポジウム）
- 7 *中島正一，秋吉美奈，海戸文子，瀧 もとみ，高松 純，島 弘志，井手通雄，瀧 健治，中島正勝，森 幸夫：第1種高気圧酸素治療装置における緊急時対応マニュアルの検討．第38回日本高気圧環境医学会総会．2003，11，6．日本高気圧環境医学会雑誌 38(2)：189.
- 8 *中島正一，秋吉美奈，島 弘志，瀧もとみ，高松 純，井手通雄，瀧 健治：イレウスに対する HBOT の治療効果の検討．第38回日本高気圧環境医学会総会．日本高気圧環境医学会雑誌 38(2)：198.
- 9 *中島正一，秋吉美奈，瀧 もとみ，高松 純，黒田久志，島 弘志，井手通雄，加藤博之，瀧 健治：高気圧酸素療法（HBOT）が有効であった嫌気性感染症の1症例．第6回日本臨床救急医学会総会．2003，4，24．日臨救医誌 62：240.